

新しい積算方式

ユニットプライス型 積算方式

価格競争から真の技術力競争へ

発注者は、公正さを確保しつつ良質なモノを適正な価格でタイムリーに調達する責任〔発注者責任〕を有しており、計画～積算～入札・契約～施工・監督～検査・評価に至るまでの各段階において発注者責任を満足する方策を実施することが求められています。

ユニットプライス型積算方式への転換も、その方策の一つであり、入札・契約における技術力競争の推進等や監督・検査における検査技術の向上などとあいまって発注者責任を満足することが可能となるものです。

また、この積算方式の転換により、従来よりも説明性・透明性が向上するとともに、受注者の創意工夫や技術力を発揮しやすくなる等が期待され、発注者・受注者のそれぞれの立場における責任を果たすしくみの一助となるものなのです。